

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和5年第35週（令和5年8月28日～令和5年9月3日）

福岡県感染症情報センター

■ コメント

- 第35週は、咽頭結膜熱の報告が322件ありました。1定点医療機関当たりの報告数は2.68で、先週（1.87・速報値）に比べて約1.43倍に増えており、今後の動向に注意が必要です。咽頭結膜熱は、アデノウイルスの感染により、発熱（38～39度）、のどの痛み、結膜炎といった症状が現れる小児に多い疾患です。プールでの接触やタオルの共用により感染することもあるので、プール熱と呼ばれることもあります。感染を予防するために、流水と石けんによる手洗いやうがいをしましょう。また、感染した人との密接な接触は避け（タオルなどは別に使う）、プールから上がったときは、シャワーを浴び、うがいをしましょう。咽頭結膜熱による高熱は比較的長く（5日前後）続くことがあります。特別な治療法はなく、ほとんどは自然に治りますが、吐き気、強い頭痛、激しい咳がある場合は早めに医療機関を受診しましょう。
- 福岡県感染症情報ホームページ(http://www.fihes.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/)では、感染症発生情報、病原体検出情報などがご覧になれます。

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	12	398	260	9,080
腸管出血性大腸菌感染症	8	106	213	2,176
日本紅斑熱	3	10	16	258
レジオネラ症	1	55	36	1,377
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	3	77	40	1,219
侵襲性肺炎球菌感染症	2	52	16	1,170
梅毒	22	588	223	9,798

■ 定点把握疾患報告数

■ : 警報レベル

■ : 注意報レベル

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	3,032	15.31	1.01	93,792	19.07
インフルエンザ	823	4.16	1.57	6,910	1.40
RSウイルス感染症	70	0.58	0.66	1,992	0.64
咽頭結膜熱	322	2.68	1.44	2,128	0.68
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	322	2.68	1.07	3,546	1.13
感染性胃腸炎	423	3.53	0.98	8,631	2.76
水痘	18	0.15	3.00	251	0.08
手足口病	501	4.18	1.35	2,945	0.94
伝染性紅斑	3	0.03	1.50	37	0.01
突発性発しん	48	0.40	1.00	911	0.29
ヘルパンギーナ	372	3.10	1.29	3,399	1.09
流行性耳下腺炎	7	0.06	1.40	133	0.04
急性出血性結膜炎	0	0.00	0.00	13	0.02
流行性角結膜炎	31	1.19	1.55	440	0.63
細菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	9	0.02
無菌性髄膜炎	0	0.00	-	18	0.04
マイコプラズマ肺炎	0	0.00	-	13	0.03
クラミジア肺炎	0	0.00	-	-	-
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	-	3	0.01

※新型コロナウイルス感染症について、現在、警報・注意報の基準値は設定されていません。